馬耳東風

経済が生み出した分業社会は，効率のよい仕組みで富の生産と分配の安定した社会の基盤を作り出し製造原価を引き下げ，製品の普及を容易に便利で快適な生活を生み出した．しかしながら，この行き過ぎが招く自然との調和問題や社会の断片化も課題となって現れた．為替相場の変動が輸出入価格にすぐに影響する．発電資材の価格上昇は電気代を上げ，その結果連鎖反応で製造原価を押し上げる．海外依存度の高い食料や飼料価格の値上げの影響は大きい．コロナの感染拡大で牛乳の消費停滞を何とか耐えてきた矢先のことである．なかでも輸入飼料の入荷困難と価格のつり上げが自給飼料比率の低い経営体を直撃した．特に牧草地の少ない近郊酪農や購買飼料に依存する養鶏や養豚農家の困惑は眼に余る．牛飼料の国産自給藁の供給はまさに水田のおかげである．飼料価格の高騰により乳代で飼料代が不足する事態は飼育頭数の減少を招き，しかも自給飼料調達困難な場合生産原価を底上げし，先行き不安からやむを得ない廃業に追い込まれてしまう．

分業は，技能の向上や時間の節約あるいは発明の誘発を利点とするが，行き過ぎもまた問題を生む．過度の分業は何を造っているのか何に使われるのか分からない心の劣化を生み，労働環境の低下を招く．さらに権力が集中して複雑な仕組みが責任の所在を曖昧にし，無責任な状況が頂点に達すると裁判に委ねるような感覚麻痺が発生する．行政と政策の断片化が発生すると熱海の土砂崩れ災害や知床の観光船遭難が思い出される．

太陽光や風力といった自然エネルギーは，人口の過度集中から自律的分散を可能にした．食料生産や建築木材を産出する国土は，水と山林を豊富に持つわが国特産の資源である．世界各地で食糧難の声が聞こえるこの頃，主要産出国が安全保障の鍵を握る人類生存の要であり，広く責任を負うものでなければならない．農業経済学の権威である鈴木宣弘・東大教授は「持続可能な食・農・環境・地域の活路」を提起している．輸入した方が安いからと国内生産をやめてしまったら，不測の事態で食料危機が起っても食べ物を調達できない．また，食品ロスは分業による特有の商慣習や消費される魚の多様性の劣化を生む．海外に依存し過ぎず，自給力を持つ工夫を国土の様相から考えてみたい．政治の世界で「食料・農業・農村基本法」を見直し食料安保を強化する方向性を視野に検討されるようだ．分業社会とは，それを総括する自律性を持つことである．域内の連携基盤を生かし，新技術を活用し食品ロスを抑えながら，38%（カロリーベース）と低迷する自給率を何としても高め地域を創生し，しっかりした備えをしたい．世界環境の多極化の進行と，いかにも力の支配の時代にあって，ウクライナ危機の教訓として食料安保を真剣に考える新年でありたいと思う．（柏）